

常磐共同火力株式会社勿来発電所の排出ガス量の 測定結果の虚偽報告に対する申し入れ

貴社は、本市との間で締結している公害防止協定に基づき報告されている勿来発電所のボイラーで燃料を燃やした際に発生する排出ガス量の数値について、少なくとも平成12年頃から継続して、実測値と異なる数値を本市へ報告していたと発表しました。

石炭ガス化複合発電技術により、この分野で世界をけん引し、福島復興に向けた世界最新鋭の石炭火力発電所プロジェクトを推進していることに、大きな期待を抱いていたところでありましたが、虚偽報告が継続的に行われていたことには、深く遺憾の意を表するものであります。

貴社においては、今回の事態について、原因の究明を早急に行い、その結果を速やかに報告し、広く市民に公表するとともに、今後は、長年に渡り虚偽報告が行われていたことを重く受け止め、責任の所在の明確化を図り、厳正な処置を講じるとともに、新たな管理体制を構築するなど再発防止対策を確実に実施するよう強く申し入れます。